

小さくなっている ヒトの顎

小田原市 三宅 正純

類人猿や動物の顎は突出し、お互い顎が小さい異し突顎と、ヒトの顎は後退性に性淘汰したのかもしれない。アレンの法則とは、ヴィン・デ・ビアア（ド・ピア）は、ヒトの顔は幼形のままで顎の突出がない猿だという。男性は可愛い幼形の顔の女性を、女性は女性的な中性顔の男性を選んだため、ビタミン、ミネラルが不足し、顎に退化が及び、歯の萌出余地不足を齎しているのかもしれない。L・ウォルターは、犬はヒトの疾患を再現するとしているが、D・モリスによると、ヒトの顎が突出しなくなり、飼犬への擬人化の要求が強くなり、顎が増えることを明らかにした。進化は方向性がなく、その時々環境で有利な特性が増え、干ばつときは嘴の大きい個体が、大雨の年は小さい個体が適応的になり、嘴の小さな個体が増えることを明らかにした。



ブルドッグの顎は受け口に人為淘汰された

ブルドッグの顎は受け口に人為淘汰された。顎の大小、かみ合わせの良し悪しには個体差があり、両親の歯並びが綺麗でも子は必ずしも同じようになるとは限らない。環境の影響も受けるからで、柔らかなものを食べていれば、鳥の嘴が小さくなることをヒュールツァー賞受賞のグラント夫妻が見つけた。彼らはカラパゴス諸島で、フィンチという鳥は干ばつが起きた時、食べていた種が少なくなるため、大きくて割れにくい木の実を食べなければならなくなり嘴の大きい個体が増え、反対に大雨の年になると、小さな種子が地面に落ちているため、嘴の小さな個体が増え、顎の小さな個体が増えることを明らかにした。

カラヴァッジョの 死の謎に迫る

川崎市川崎区 谷本 哲也

従来の定説を覆す法医学的調査の衝撃。DNA解析とメタゲノム解析が解明した、400年前の死因。暴力的な生涯の果てに待っていた敗血症の真実とは―（毎月一回連載）。



ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ『バックス』1598年頃、ウフィツィ美術館（事務局撮影）

劇的な明暗法と暴力的な描かれたゴリアテの顔は、カラヴァッジョ自身の自画像であるとの説もある。もしそれが真実ならば、彼は自らの死をすでに予感し作品に刻み込んでいたのかもしれない。若いダヴィデの表情は勝利の誇りではなく哀れみと悲しみを湛え、「罪と贖い」、「暴力と救い」という主題を象徴するものとして解釈されている。

2018年、ランセットの死の真相に迫る医学的な調査が発表された。イタリア中部トスカナ州の港町ポルト・エルコレは、彼が教皇庁から殺人事件の恩赦を得るためローマへ向かう途中に立ち寄り、亡くなった地として有名だ。その墓地で発見された9体の骨のうち、炭素年代測定によ

って17世紀初頭のもの特定された1体について、DNA解析が行われた。その結果、11のY染色体マーカーがカラヴァッジョ家のハプロタイプと一致し、高い確率で本人のもので推定された。

この骨から得られた歯髓腔に対するメタゲノム解析と定量PCRの結果、黄色ブドウ球菌のDNAが検出され、さらにタンパク質解析も同菌のみが検出された。これにより、研究チームはカラヴァッジョがブドウ球菌による敗血症で死亡した可能性を強く示唆した。

では、なぜ彼はこのような感染症に罹ったのか？研究者たちは、死の直前にナポリで受けたとされる傷の二次感染が敗血症に進展したと推測している。実際、発見された骨には骨髓炎の兆候も認められた。

この医学的推定は、従来のマリアア説や梅毒説などの仮説を覆すもので、カラヴァッジョの死が暴力的な生活と深く結びついていたことを示している。彼はローマでの殺人事件をきっかけに逃亡生活を送り、その後各地で喧嘩や闘争を繰り返していた。最後の争いの傷が彼の命を奪ったのである。

このように最新の科学は、過去の巨匠の死に新たな光を当てた。芸術と病、創造と破壊。そのはざまに生きたカラヴァッジョの人生は、絵画と同様に鮮烈で、なおかつ悲劇的だった。そしてその死は、科学と歴史、医学と芸術が交差する地点に、そっと横たわっている。

研修医時代のおもひで

横浜市中区 新妻 正道

今から40数年前のことなので記憶に残っていることは限りがある。

医師としてスタートしたのは秋卒最後の年で12月からであったため今と違って寒かったことは覚えている。年2回の国試のため一

中年女性であった。何もできないので患者さんのリハビリのヘルプとして歩行のお手伝いをさせてもらった。手を引きながらゆっくりと歩きリズムをとったりして、少しずつではあるが日に日に歩くスピードがアップしたのを実感して嬉しかった。これが幸いしたのかわからないが無事退院していただいた。

数年後に外来にてばったり出くわしたら、すっかり痩せていたが、入院の時の感謝をされた。

所謂医師冥利に尽きる瞬間であった。今の暇な研修医と違って雑用も含めていろいろ毎日が発見の日々で興味津々であった。病棟での急変など日常茶飯事であ

り、これが病棟に缶詰めにされた所以と納得した。夜は夜で連日当直生活が待っていてこれもまた派手な臨床研修になったので、開業医の今それが役に立ち、度胸も揺わり、貴重な経験ができたと感じている。当時の一番の苦手だったのは週1の教授回診である。

私の履歴書 ～第113弾～



何ができるわけでもないが病棟にいるように命令された。点滴、採血などの基本手技から始まりカルテの書き方はSOAPにするようにと言われまづついたことを覚えている。最初の患者さんはCushing症候群の

臨床研究へのご参加のお願い

神奈川県保険医協会は、高血圧および2型糖尿病を合併する慢性腎臓病患者を対象に、エサキセレン（ミネプロ）又はフィネレノン（ケレンディア）を用いて、両薬剤間の腎保護効果（アルブミン尿排泄低下効果）を比較する臨床研究（後ろ向き前向き観察研究）を開始いたします。

研究に先立ちまして、現在研究にご協力いただける医療機関を募集しています。研究にご興味のある先生、協力いただける先生は、お電話にてご連絡をお願いいたします。

研究代表者 学術部長 湯浅章平

【研究課題名】「非ステロイド性アルドステロン受容体拮抗薬フィネレノンとエサキセレンの高血圧・2型糖尿病合併慢性腎臓病患者に対する腎保護効果―神奈川県における多施設共同後ろ向き前向きコホート研究―（SAFE-K研究）」

【研究期間】研究機関の長の実施許可日～2028年9月30日

【予定登録期間】研究機関の長の実施許可日～2027年3月31日

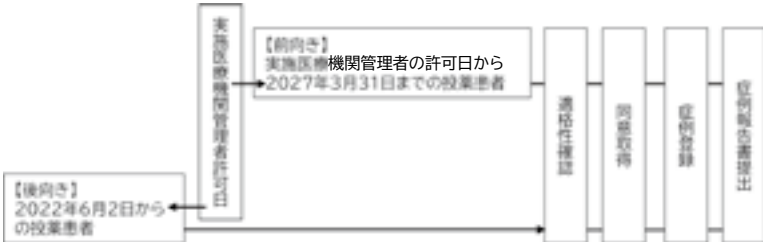
【研究概要（対象患者・方法）】

＜対象患者＞

エサキセレン又はフィネレノンを新規に投与した高血圧・2型糖尿病合併CKD患者

＜方法＞

薬剤投与開始日をベースライン（登録日）とし、3・6・12カ月の各データを収集し、エサキセレンとフィネレノンの治療効果（腎保護効果）を評価する。研究参加医療機関は、症例報告書を電子メールまたはFAXで協会事務局に提出する。



＊お問合せは学術部まで（TEL 045-313-2111）